



あぐい







第155号

平成24年10月15日発行

議会だより



幼保小の交流(幼稚園で健康の寸劇をする英比小保健委員)

-  2P 主な議決内容
-  3P 決算の状況
-  6P 常任委員会レポート
-  7P 一般質問
-  17P 追跡レポート
-  18P 学校紹介「英比小学校」

平成24年 第3回定例会

可決

平成23年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定

反対討論

辻 忠男 議員

①幼稚園の入園希望者が増えている。幼稚園の定員を増やすべきである。
②国民健康保険特別会計への繰り出し額が少ない。
③国保税の滞納者が人間ドック・脳ドックを受けないのは、生活困窮者の切り捨てではないか。
④社会保障の充実は、町民が安心して阿久比町で住み続けたいと思う、町民の「満足度」を高める町政になるのではないか。

賛成討論

渡辺 和幸 議員

平成23年度は、第5次総合計画の初年度として将来に向けてのまちづくりに大切な年度であった。循環バスの試行運行の実施をはじめ、住民の利便性の向上や、子育て支援の施策等、厳しい社会経済状況下の中で着実に実行されたことを高く評価できる。
より一層の行財政の簡素化・効率化に努めるよう要望する。

反対討論

杉野 明 議員

①防犯灯設置は、30基にこだわらず、要望に応じて必要な箇所を設置すべき。
②地元商工業者が活性化する住宅リフォーム助成制度等の方策を、業者と一緒に築きあげるべき。
③知多地方税滞納整理機構は、滞納者の実情を適切に把握し、本人との同意の基に滞納整理していくべき。
④勤労者住宅資金預託金事業は、実態に合っていない。見直して、実効性のある制度にすべき。



平成24年10月1日に行われた循環バス命名式。
愛称は「アグピー号」に決まった。

同意

教育委員会委員の任命

まつした さとこ
松下智子氏 (宮津)

平成24年10月1日より就任(新任)



諮問

人権擁護委員の推薦

まつだ ようじ
松田洋次氏 (宮津山田)

平成25年1月1日より就任(再任)



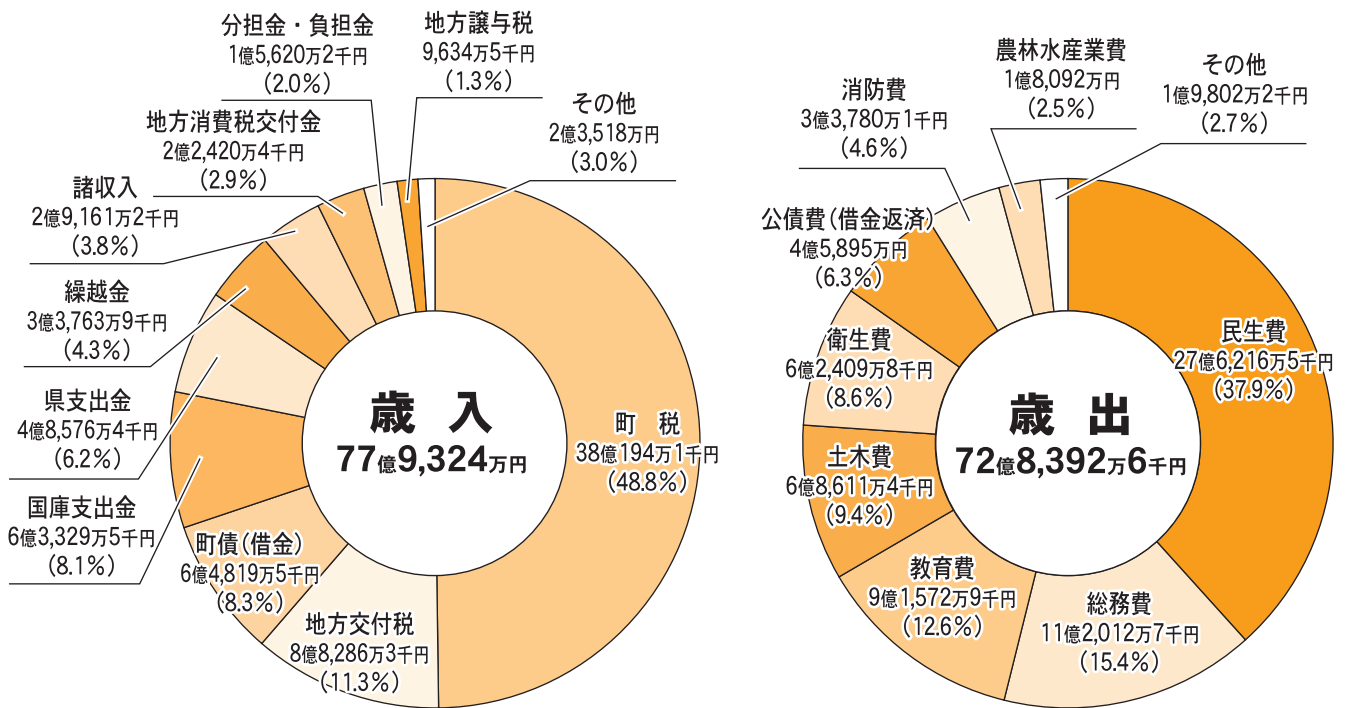
平成23年度 決算

平成23年度一般会計、5つの特別会計と水道事業会計の決算を審議した。

一般会計の歳入歳出差引額（形式収支）は、5億931万4千円の黒字となった。そのうち、翌年度（平成24年度）に繰越すべき財源としての繰越明許費繰越額1億1,010万7千円（新保育所建設事業など）を差引いた実質収支は、3億9,920万7千円の黒字となった。

一般会計決算は、歳入・歳出ともに前年度より増額となっており、歳入の主な増額となったものは地方交付税、町税、町債などである。また、歳出の主な増額となったものは、新保育所建設事業費や国民健康保険特別会計繰出金、子ども手当支給事業などである。

平成23年度一般会計決算



平成23年度特別会計・企業会計決算

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
特別会計	国民健康保険	25億5,676万7千円	23億6,709万8千円	1億8,966万9千円
	土地取得	29万1千円	29万1千円	0円
	下水道事業	6億4,102万7千円	6億3,159万8千円	942万9千円
	介護保険	13億6,329万9千円	12億7,635万3千円	8,694万6千円
	後期高齢者医療	2億3,213万3千円	2億3,073万8千円	139万5千円
水道事業会計 (消費税除く)	収益的収支	4億7,592万4千円	4億6,069万3千円	1,523万1千円
	資本的収支	1億3,693万9千円	1億9,750万円	△6,056万1千円

請願

不採択

年金2.5%の削減をやめる請願書

請願者代表 全日本年金者組合愛知県本部

支部長 新美 武彦

紹介議員 澤田 道孝 議員

主旨

現在の年金の支給水準が本来水準より2.5%高い「特例水準」であるため、政府は今国会で削減法案を提出した。

この特例措置は2000年の物価下落時に、「年金生活者にとって社会経済状況が厳しい」として、国会が全会一致で年金額を下げなかったものである。

その当時より社会経済状況は悪化しているにも関わらず、政府は特例措置を廃止しようとしているため、特例措置の2.5%の削減をやめる意見書を国会へ提出していただきたい。

賛成討論

辻 忠男 議員

2.5%の据え置きを廃止すると、3年後には会社員世帯で年間約8万円、自営業世帯では約20万円の年金が減少する。

賛成討論

杉野 明 議員

10年前に決まった「年金法の特例措置」を、今になって法律を改正してまで減額する「高齢者いじめ」は、看過できない。

賛成討論

澤田 道孝 議員

年金を引き下げ、消費税を引き上げるということは、過半数の国民に大きな負担を強いる、財政的な困難を強いることになり、日本国民の生活レベルを著しく脅かすもの

意見書

町民の声を

内閣総理大臣などに提出

採択

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

提出者 久保 秋男 議員

採択

愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

提出者 山本 和俊 議員

採択

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

提出者 都築 重信 議員

採択

愛知県の福祉医療制度の存続・拡充に関する意見書

提出者 大村 文俊 議員

陳情

- ◇定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書
- ◇住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める陳情書
- ◇国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ◇愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ◇私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私間格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書
- ◇「愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書

議案等

◎ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

議案

算認定

◎ 阿久比町防災会議条

(賛成12名 反対3名)

例及び阿久比町災害
対策本部条例の一部
改正

◎ 平成23年度阿久比町
国民健康保険特別会
計歳入歳出決算認定

◎ 平成24年度阿久比町
一般会計補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
土地取得特別会計歳
入歳出決算認定

◎ 平成24年度阿久比町
国民健康保険特別会
計補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
下水道事業特別会計
歳入歳出決算認定

◎ 平成24年度阿久比町
下水道事業特別会計
補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
介護保険特別会計歳
入歳出決算認定

◎ 平成24年度阿久比町
介護保険特別会計補
正予算

◎ 平成23年度阿久比町後
期高齢者医療特別会計
歳入歳出決算認定

◎ 平成24年度阿久比町
後期高齢者医療特別
会計補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
水道事業会計決算認
定 (賛成14名 反対1名)

◎ 平成24年度阿久比町
水道事業会計補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
水道事業会計決算認
定 (賛成14名 反対1名)

◎ 平成24年度阿久比町
水道事業会計補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
水道事業会計決算認
定 (賛成14名 反対1名)

◎ 平成24年度阿久比町
水道事業会計補正予算

◎ 平成23年度阿久比町
水道事業会計決算認
定 (賛成14名 反対1名)

承認

◎ 平成23年度阿久比町
一般会計歳入歳出決

◎ 教育委員会委員の任命

同意

◎ 教育委員会委員の任命

諮問

◎ 人権擁護委員の推薦
につき意見を求める
こと

報告

・ 平成23年度阿久比町
健全化判断比率及び
資金不足比率
※報告は賛否を取らない。

請願

× 年金2・5%の削減
をやめる請願書
(賛成3名 反対12名)

意見書

◎ 定数改善計画の早期実
施と義務教育費国庫負
担制度の堅持及び拡充
を求める意見書

○ 国の私学助成の増額と
拡充に関する意見書
(賛成14名 反対1名)

○ 愛知県の私学助成の
増額と拡充に関する
意見書

意見書

◎ 愛知県の福祉医療制
(賛成13名 反対2名)

度の存続・拡充に関
する意見書

第2回臨時会

(平成24年7月18日)

◎ 工事請負契約の締結
(新保育所建設工事)

◎ 工事請負契約の締結
(新保育所機械工事)

(賛成14名 反対1名)

◎ 工事請負契約の締結
(新保育所電気工事)

(賛成13名 反対2名)

反対討論

二留 享議員

11社中7番目の会社
を落札させていること、
また、落札の比率が78
%でほとんど上限価格
に設定していること、
以上2点が納得できな
いため、反対する。

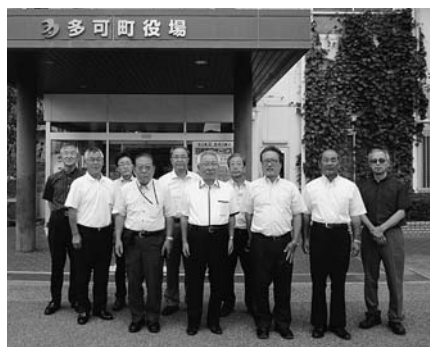
◎ 平成24年度阿久比町
一般会計補正予算

視察研修報告

防災センターと公式フェイスマック

文教厚生委員会

7月31日～8月1日に
かけ神戸市(人と未来防
災センター)と、酒米(山
田錦)の産地である兵庫
県多可郡多可町役場へ訪
問。
防災センターでは阪神・
淡路大震災の現状を目的
の当りにし、語り部から
は地震当日の生々しい状
況を、直接聞くことがで
きた。
多可町の町長からは、
フェイスマックの効果に
ついての説明があり、各
議員へ勧める場面もあつ
た。(都築重信議員)



多可町役場

常任委員会レポート

総務建設

防災力の強化

当委員会に付託された4議案、4認定を審議した。

議案の内容は、町防災害条例及び災害対策本部条例の一部改正、平成24年度一般会計補正予算等の4議案及び平成23年度町一般会計決算等4認定である。

町防災害議条例及び災害対策本部条例の一部改正は、災害時における両会議の組織、運営を強化するためのものである。平成23年度町一般会計決算認定では、町税滞納における滞納整理機構の回収率の現状について。



防災訓練における
災害対策本部の様子 (H24.8.26)

防犯灯設置については、通り可と決した。

予算枠30基のみにこだわらず、要望があれば補正予算を計上し受け入れるべき、LED機器の計画の導入を望む等の質疑意見があつた。審議結果は、4議案、4認定とも原案

(竹内一美議員)

教厚

高齢者と若い世代のバランスを

当委員会に付託された4議案、4認定、1請願を審議した。

議案の主なものは、平成24年度一般会計、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の補正予算である。

宮津保育園の増築等の審議の結果、原案通り全て可と決した。平成23年度決算認定では、繰越をするより必要な所へ予算を使つてほしい等の意見があり、審議の結果原案通り、全て可と決した。2・5%の年金削減をやめる請願書について

では、提出内容が十分なこと、若い人の公平性を考える必要のある等の意見があり、不採択となった。

(都築重信議員)

また宮津保育園、中



宮津保育園を視察



辻 忠男 議員

都市計画道路の工事遅延に伴う危険防止

看板等の設置を依頼する

問 福住交差点西北のコンビニと既設道路間に歩道・横断歩道、歩車道分離柵の設置を。

答 町道名古屋半田線の西側車道とコンビニエンスストアー駐車場との間は、進入路を明確にするため、ゼブラ表示やのぼり旗の設置がある。

問 西尾知多線を東進してきた車が信号で左折せずコンビニを通りぬけることが大変多いが「通りぬけ禁止」の注意看板の設置はできないか。

答 通り抜け禁止看板の設置は、駐車場の管理者が設置することになるため、管理者に看板設置の依頼をする。

問 バス停より南に大型トラックの長時間駐車に対する危険防止策は。

答 現場の実態把握に努め、必要に応じて、自動車所有者に連絡する。

問 高根台から白沢駅への坂道の危険防止策は。

答 再度、土地所有者に枝や竹の伐採を依頼する。

子どもへの施策と学校給食

適宜対応

問 園児・児童・生徒1食あたりの給食費は。

答 小学校は230円、

中学校は260円、幼・保育園は133円。

問 町の負担金は。

答 一人当たり、3万141円。

問 小・中学別の当月未納者は。

答 現在22名。

問 教員が未納者宅まで集金に行く実態は。

答 未納が分かった時点で保護者に連絡し、納入期限までに支払いが無い場合は教育委員会と連携して家庭訪問をし、納めてもらうようお願いしている。

問 アレルギー対応食は。

答 アレルギー症状により、代替え食に切り替えるか、除去して食べている。

問 給食センターに放射能測定器の設置は。

答 購入予定は無い。補給食費の無料化・補

助金の考えと試算は。

答 無料化は考えていない。

問 保育園の入所が決定しないと職場を探せない。

答 保育所の定員に余裕

教員の勤務実態

把握している

問 省令の4項目の超過勤務の代替は。

答 実状に合わせた体制を整えている。

問 教員の出退校の把握は。

答 実際の出退校時間を記録している。

問 うつ病等での休職者は。

答 現在1名。

問 いじめによる自殺に對して、教育現場としての思いは。

答 他人事ではなく、襟を正して指導していく。

がある場合、自由契約児として入所できる。自由

契約児の受け入れも今後努力する。

問 いじめの発見と対応は。

答 発見は、教職員の日々の観察、児童生徒や保護者からの連絡に負うところが大きい。対応は、聞き取りと指導、保護者への連絡と連携を進め、予防と再発防止に努めている。

問 教員が多忙で子どもの状況を把握できないのでは。

答 生徒指導上の諸問題は、最優先事項として取り組んでいる。

住宅リフォーム助成制度事業を

実施する考えはない



杉野 明 議員

地域経済の活性化に効果的な「住宅リフォーム助成制度」を実施する自治体が、全自治体の3割となる533自治体に広がっている。

問 短期間に全国で大きな広がりを見せている「住宅リフォーム助成制度」をどう考えるか。

愛知県はまだ実施自治体が少ないが、先駆けて阿久比町で実施する考えはないか。

答 愛知県内の住宅リフォーム助成制度は、本年7月1日現在で4市町村が実施している。

住宅リフォーム助成制度には、中小企業事業者の仕事の確保による地域経済の活性化や、雇用の創出も考えられなくもないが、助成制度を実施する考えはない。

農業用水路維持管理の見直しを

管理方法も含め話し合う

植地区では今年も例年通りに幹線水路の清掃が行われた。欠席者には出不足料が課せられるが、高齢化や世代替わりで年々参加者が減り、来年の実施は困難な状況。

問 本町で先日行われた「農業地域懇談会」ではどのような話し合いがなされたか。

答 話し合いの内容は、農家の後継者不足の問題、今回新規就農される方の自己紹介や今後の抱負についての話、農産物ブランド化の必要性など、農業経営について話し合われた。

問 本町の農業用水路維持管理の実態は。

答 農業用水施設等の維持管理には、町から補助金を交付し、各地区では水路や道路の草刈り作業、水管の修理などの維持管理作業を行っている。

問 今後の農業用水路維持管理の方針は。

答 農業用水施設等の維持管理は、受益者が協力して維持管理すべきものと考えているが、農業者の高齢化等により維持管理が困難な状況になりつつある。

今後は、農地自体の維持管理方法も含め話し合いを行うことが必要である。



阿久比駅地下通路

阿久比駅のバリアフリー化を

名鉄と協議を重ねている

障害者が健常者と同じように社会生活ができるよう各機関・施設で整備が進められている。

町内各駅もスロープができているが阿久比駅は長い階段のみ。

問 阿久比駅のバリアフリーを名鉄・関連機関に強く要望してはどうか。

答 平成23年3月31日に告示された、移動等円滑化の促進に関する基本方

針では、一日平均の利用者数が3000人以上の鉄道駅には、エレベーター又はスロープ等段差の解消などを平成32年までに設置する目標となっている。このため、国の補助制度を利用した事業化ができるよう、名古屋鉄道(株)と協議を重ねている。

その他の質問項目

・都市計画道路環状線について



鈴木 一夫 議員

学童保育の現状と今後の見通しは

利用者の増加に対応していく



げんきッズ南部



げんきッズ英比



げんきッズ草木



げんきッズ東部

学童保育がスタートして10年程経過した。現状と今後の改善は。

問 スタートをした時期、NPO法人に変わった経緯は。

答 平成14年度に開設し、指導員の確保等の問題で平成21年度からNPO法人へ委託した。

問 4学区の定員数と現在の学童数は。

答 8月現在、東部が定員50人で利用者数47人、英比が40人で37人、草木が30人で24人、南部が30人で33人。

問 4学区の公費と個人負担額は。

答 公費は4学区の合計で年間1623万6000円。個人負担は1人月額1万1000円等である。

問 現在までの利用者の推移は。

答 4月現在の利用者数は、平成19年度が76人、平成24年度が144人で毎年増加している。

問 今までに特に苦労した点は。

答 指導員の確保や移転場所の選定で苦労した。

問 学童の安全・安心特に留意している点は。

答 開設場所を学校に近く児童が安全に通所できる所に選定している。

問 今後の課題・問題点は。

答 今後、利用者数の増加が予測されるため、実施団体等の意見を聞いて対応していく。

本町職員の地元外在住率は

災害有事等今後の対応は

現状で対応できる

中日新聞に5市5町の職員数と市町外在住者の割合が掲載された。

問 地元希望者を増やす工夫は。

答 広報あぐい・ホームページなどで役場の魅力を発信する。

問 本町は地元外在住職員が54・4%。この数値をどう思うか。

問 今後3年間で多くの定年退職者が出る。人事計画、人員計画は。

答 役場から10km圏内に160人が在住し、割合は84・7%で、自転車であれば1時間で到着でき、災害有事に対応可能。

答 平成24年度退職予定者2名に対して、平成25年度の採用を多くして前倒して職員を採用する。

問 25年度採用受付で本町在住者の割合は。

答 応募者は167人で、町内在住応募者は40人で、割合は約24%。

問 採用に優先枠はあるか。

答 公正な採用選考のため、優先枠は設けない。

その他の質問項目

・本町職員の長期休職の実態と現状、その対応について

自然災害時の緊急復旧体制は

協定書に基づき要請する



渡辺 和幸 議員

発生確率が高いとされている東海・東南海・南海三連動地震等、自然災害時における緊急復旧体制は。

問 道路損壊、河川決壊の場合は。

答 道路損壊による緊急復旧策を行う場合は、緊急輸送道路の調査を行い、災害時における応援出動協定に基づき、優先的に緊急輸送道路の確保を進める。

問 河川決壊による応急復旧は、河川監視や警戒を行い、河川堤防が決壊した場合は、消防団や業者に依頼し、決壊箇所のお積などの応急復旧を行う。

問 住宅及び公共建物の倒壊時は。

答 住宅に対する応急復旧対策は、災害による被害住宅に対する災証明の発行や応急仮設住宅の建設などを行う。

公共建物の応急復旧対

策は、激甚災害の指定を受けるなどして、各種の災害復旧事業として行う。

問 水道関係の断水被害、早期送水復旧は。

答 配水管の新規敷設工事や改良更新工事を施工する中で、耐震化を進めているので、断水被害は以前より少なくなっている。

問 早期送水復旧体制は、災害時における応援出動に関する協定に基づき、復旧活動に入る。

問 電気関係の停電被害、早期送電は。

答 災害時における応援出動に関する協定書に基づき要請する。

問 避難所発電機の燃料確保と補給準備は。

答 今年度購入する発電機には、20ℓ用の携行缶と200ℓの燃料タンクで対応する。補給準備として、ガソリンスタンド業者との協定を検討する。

問 各工事施工業者等の緊急時協力協定はされているか。

答 道路、河川、上水道については、災害時における応援出動に関する協定書を締結している。

上水道については、水道災害相互応援に関する覚書を交わしている。



防災訓練における給水訓練
(エスペランス丸山駐車場)



台風による電柱倒壊
平成15年台風14号(宮古島)



竹内 一美 議員

大規模災害時の情報伝達は 通信機器の研究を行う



災害時に使われる町防災行政無線(移動系携帯無線)

災害時における正確で迅速な情報伝達は住民の被害や混乱を防ぐのにきわめて重要である。平時から、非常通信計画、通信訓練に取り組んでおくべきである。

問 防災訓練における町防災行政無線(移動系)の通信状況はどうであったか。また通信手段としての問題点、改善点は。

答 防災訓練前に通信テストを実施したが電波の届きにくい所もあった。

今後移動携帯無線機で災害対策本部との通信が出来るよう業者に相談する。

問 地区自主防災会から直接災害対策本部へ情報伝達する手段は。

答 今後避難所への通信機器設置が可能か研究する。

問 アマチュア無線家の協力を得た非常通信を発災時の情報収集手段とした活用は。

答 組織が結成されたら協定を締結する。

大規模災害時の生活用水の確保は

防災井戸台帳の整備を進める

生活雑用水の不足は、水道の復旧までに時間を要することから、長期間になると深刻な状態となる。

問 飲料水以外の生活用水の確保の方法は。

答 家庭での溜め置きと企業から提供して貰う井戸水で対応する。

問 災害時協力井戸の登録制度を推進できないか。

答 防災井戸台帳の整備を今年度進める。

水の出ない水洗トイレ、水の出ない台所、水の無い洗濯機が現実の生活となる。



現在も使われている井戸



高齢者の地域福祉の現状は

現在11事業のサービスを実施



都築 重信 議員

問 高齢者が叫ばれる中、阿久比町住民の方々が、幸せで充実した人生を送っていたために、いろんな方策を考えていく必要があるかと思われる。また同時に若い世代には大きな負担をかけることのないよう、配慮を行う必要がある。そんな中で現在、阿久比町で行っている高齢者の地域福祉について内容を伺う。

答 高齢者の地域福祉事業には、どのようなものがあるか。常時徘徊癖のある高齢者の方に、発信機を携



高齢者への声掛け

帯させることで、緊急時における本人の位置確認を行う「徘徊高齢者家族支援サービス」がある。

問 高齢者の見守りについて、現在実施している事業はあるか。

答 配食サービス事業による安否確認を行っており、平成23年度実績では106人の方が登録されている。

問 高齢者への緊急通報装置設置について伺う。

答 緊急通報装置設置事業は、高齢者の身の安全を確保する重要な事業で、平成23年度実績では69世帯の利用がある。

阿久比町農業の今後は

人・農地プランを作成中

農業者は野菜、米、畜産物等の食料の生産、人々の癒しをはかる切り花、鉢物等の生産販売を通して、皆様に喜んでいただけるよう日々努めている。

最近日本はTPPという外圧を受けようとしている。日本の農産物の関税は決して高くはなく、世界最高水準にオープンになっている。

しかしながら関税の完全撤廃となれば大きな影響をうける。

国内では人・農地プランの作成が全国で行われている。阿久比町においても今後の農業のあるべき姿を考える機会になると思う。

阿久比町農業の今後の方向について伺う。

問 人・農地プランの現在の進捗状況について伺う。

答 農業委員会や主要な農業者の団体に、計画作成の目的やスケジュールを説明し、7月下旬には、計画内容の検討・評価を行う「阿久比町 人・農地プラン検討会」を設立した。

8月下旬に、小学校区を単位とする地域ごとに農家の話し合いを開催し、地域における現在の問題点や、将来の計画について、意見交換を行った。

現在、計画の素案を作成中で、今後検討会や農家の意見を聞いて、年内の作成を目指す。

問 TPPに対する阿久比町の現在の考え方を伺う。

答 例外なき関税撤廃が行われると、町の農業は多大な影響を受ける。協定交渉は、国家の外交政策の問題でもあり、動向を注視したい。



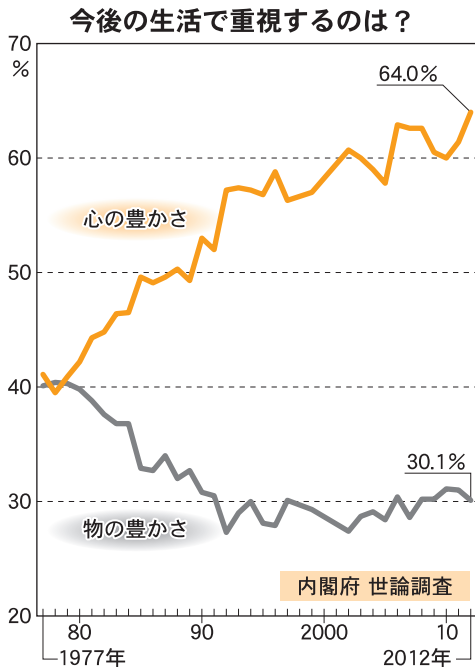
金「マ」の栽培(板山)



沢田 栄治 議員

町民の幸福度は

数値化は難しいが日々努める



民がより幸せになれるようにすることを責務と感じ日々努めている。

問 町民の幸福度を町として関心があるのか。

答 個人の幸福感は、主観によるもので数値化は難しい。町の仕事は、町民がより幸せになれるようにすることを責務と感じ日々努めている。

問 町民の幸福度を町として関心があるのか。

答 以前に調査したことがあるのか。

答 アンケート調査など様々な機会を通して町民の声をききとる。

問 町民の幸福度を町として関心があるのか。

答 幸福度調査はないが、総合計画の住民アンケートで「今後も住み続けたい」が75・9%だった。今後も愛され住み続けたいまちづくりに努める。

問 住みやすい阿久比町を構築し、是非アピールするためにも、調査・アンケートを実施してはどうか。

答 昨年滋賀県大津市の中学校でいじめが原因と見られる問題がおきたが、いまだ解決がされていない。

問 町として引きこもり、不登校、いじめ等現状はどのようなになっているのか。

答 平成23年度では、不登校24名、いじめは1件1名。

問 対応はどのようにしているのか。

答 いじめた子と、いじめられた子からの聞き取りと指導、保護者への連絡と連携を通して解決を図る。

引きこもり・不登校・いじめ対策は

全職員による観察と指導

昨年滋賀県大津市の中学校でいじめが原因と見られる問題がおきたが、いまだ解決がされていない。

問 予算の中に教育指導、相談員の枠があるが、どのような対応をしているのか。

答 講師謝礼・啓発物代・教材や消耗品費に使用。

これからの全ての児童生徒が、大切な社会人へ成長してもらうために町としての取り組みを伺う。

答 教育指導員は、教育相談活動等を、教育相談員は、カウンセリング等を行っている。

問 いじめ対策事業費はどのように使われているのか。

町として引きこもり、不登校、いじめ等現状はどのようなになっているのか。

答 以前と比べ、現在引きこもり、不登校、いじめの実態はどうなっているのか。

答 いじめは、減少傾向にある。不登校については、ほぼ横ばい状態。



全校児童で楽しむ“なつまつり” (南部小)

小中学校のいじめは

平成23年度は1件



澤田 道孝 議員

問 町立小中学校のいじめの実態と対策は。

答 いじめの件数と解消は、平成20年度は、10件中7件、平成21年度は、7件中3件、平成22年度は、5件中4件、平成23年度は、1件中1件。対策については、アンケートや教育相談の実施、情報交換と組織的な対応。

問 いじめ防止条例等、新しく対策を考える予定はないか。

答 学級経営の充実に加え、「学校におけるいじめの問題への取組についてのチェックポイント」を作成し、各校において点検を呼びかけている。

観光事業の取り組みは

ホームページを準備中

問 本町の観光事業について観光協会と産業観光課の役割の違いは。

答 平成23年6月に阿久比町観光協会が設立され、町内外で開催されるイベントに参加して、阿久比町をPRしているほか、観光パンフレットを作成し、各地域の観光案内所等で配布している。

問 町としては、観光協会の活動を支援するともに、知多半島観光圏協議会に参画して、広域での情報交換に努めるほか、観光協会と他の団体との調整を図る。

問 今後の重要課題とその展望については。

答 観光協会では、情報発信のため、現在独自のホームページ立上げを準備している。今後は、農作業体験の充実、ハイキングやサイクリングのコース設定、土産品の開発や認定制度などに取り組みほか、隣接地域との連携を図ることとしている。そのほか、アグピーパーなどのキャラクターを活用したPRや新しい観光資源の開発が必要となる。

防災訓練の反省は

災害時素早い対応を

問 防災行政無線（同報系）が聞こえなかったが。

答 地形や建物の影響で止むを得ず、聞き取りにくい箇所もある。48〜7030へ電話してメッセージを聞いて欲しい。

問 町長の町民への呼び掛けは「災害対策本部長の竹内」が正しいのではないか。

答 地域防災計画に基づき町長名で呼びかけを実施した。

問 要支援者を中央公民館まで誘導したが、町職員は誰も対応しなかった理由は。

答 訓練は、タイムスケジュールで進めているので、訓練時間は守って欲しい。実際の災害発生時には、素早い対応をする。

問 安否確認フラッグに「アグピーパー」マークを入れた理由は。

答 玄関前に掲げよく目立つようにした。



防災行政無線(同報系)



安否確認フラッグ



三留 享 議員

「いじめ」の現状と対策

教育相談を実施



バレーボール部

部活動を楽しむ阿中生



卓球部

大津市でいじめを受け

た中学2年男子生徒が飛び降り自殺した問題は、滋賀県警による強制捜査に発展した。

適切な対応をしなかった教師、学校、教育委員会、被害届受理を断った警察の責任が問われている。

問 本町におけるいじめ問題の発生状況は。

答 平成22年度5件、平成23年度1件、知多管内では、平成22年度416件。

問 発生予防対策実施状況は。

答 対生徒には、アンケートや教育相談の実施と相談窓口の紹介を、対保護者には、教育相談で話が出来よう配慮し、いじめの相談は、随時対応している。対教職員には、自分の学級に限ってという思い込みが無いよう呼びかけている。

問 発生した場合の対応方針・方法は。

答 早期発見・早期対応と、迅速かつ組織的な対応が重要である。

契約事務の運用

適正に執行

本町は、ここ数年水道新供給点、新保育園建設等の大型工事が続いており、今後も厳しい財政事情の下で、役場新庁舎、プール建設、給食センターリプレース、上水道老朽化対策、市街化調整区域内下水道整備等が予定ないしは想定される。更なる適正な予算執行を期して質問する。



入札箱
(平成23年度は、電子入札が8割であった)

問 入札対象案件と入札方法は。

答 物品は80万円、工事は130万円を超えるものの。

問 予定価格の決定と、事前工事の有無の判断は。

答 建設工事及び設計・測量・建設コンサルタン卜等業務は事前公表。

問 落札者決定の仕方は。

答 予定価格の制限内で最低の価格で入札したものが落札者となる。例外として、低入札価格制度、最低制限価格制度、総合評価方式がある。

問 最低制限価格の必要性は。

答 品質確保と契約不履行防止の観点から必要。

高根台地区の課題と対応

県へ強く要望する



渡辺 功 議員

都市計画道路名古屋半田線（高根台西側）の早期事業化にむけて

問 都市計画道路名古屋半田線の全体概要は。

答 都市計画道路名古屋半田線は、東海市名和町から半田市有楽町につながる全長22・6 kmに及ぶ路線で、オアシス大橋東側まで四車線、以南は二車線で計画されている。

問 現在までの工事の進捗状況は。

答 平成24年4月1日現在で、工事完了区間は15・1 km、現在工事中の区間は1・6 km、未着工区間は5・9 kmとなっている。

地区から町政への要望に対する回答書では、知多刈谷線（以北）の施工が済み次第、順次、町内部分の整備がされると考えますが、早期整備に向け要望してまいります、とある。

問 都市計画道路知多刈谷線以北の施工とは、どの区域で、それはいつ頃完工する予定か。

さらに今まで、町はどのような活動を展開してきたか。

答 都市計画道路知多刈谷線の以北に係る都市計画道路名古屋半田線の工事完了は、数年間が必要である。

本町は、早期実現のため、愛知県へ毎年度要望活動を実施してきた。

問 県への要望調査に、本町が「都市計画道路名古屋半田線の延伸」を要望事業としたのは、いつからなのか。同様に、東浦町も要望事業として、毎年県に要望しているか。

答 本町では、平成19年度から、東浦町は確認できる限りは、平成11年度から事業要望している。

今後も早期実現のため、粘り強く愛知県へ要望する。現在の進捗状況を把握し、県が都市計画道路

知多刈谷線の南の工事着手する時期を注視し、その時には、東浦町地内と同時着手頂けるような要望活動を行う。

問 結局は、高根台西側は一番最後で、しかも着工は、いつになるのか分らないのが実態なので、早期実現に向けての今後の施策は。

答 今後も早期実現のため、粘り強く愛知県へ要望する。

現在の進捗状況を把握し、県が都市計画道路知多刈谷線の南の工事着手する時期を注視し、その時には、東浦町地内と同時着手頂けるような要望活動を行う。

団地内道路の整備を

問 団地外周の幹線道路の舗装整備を。

答 団地外周道路の舗装整備は、現地を確認し、来年度以降検討する。

問 道路上の安全標識の

メンテナンスを。

答 団地内道路標識・道路表示等は、地区からの要望により、一時停止の標識・標示等は公安委員会、道路の外側線等は、町で対応する。

問 福住交差点から高根台入口に入る直進道路を一部延伸させて、高根台から白沢駅への道路（町道105号線）と接続を。

答 白沢駅に通じる町道と都市計画道路名古屋半田線の接続部分の工事は、阿久比町地内の都市計画

道路名古屋半田線が着工される時期に合わせて優先的に行って頂けるよう県へ要望する。

問 団地南部の竹やぶの枝等の剪定や伐採を。

答 団地南の竹藪の剪定は、緑地帯に竹が繁茂しているため、来年度以降、竹の伐採も含め、緑地整備を検討する。

問 中央公園の排水溝の清掃を。

答 中央公園の排水溝は、地元で清掃活動をお願いしたい。



都市計画道路名古屋半田線

高根台地区の航空写真

追跡レポート 2年前のあの答弁はどうなった!!

平成22年10月15日発行
第147号より

Q

最近、不審者情報が多く聞かれるが、まだまだ不審者への対応に対する認識が不足していると考ええる。

① 不審者対策への取り組みは。

② 各公共施設等での不審者への対応は。

③ 自主防犯力を高め、地域で防犯対策の担い手となる防犯リーダーの育成をする考えは。

A

① 防犯意識と隣近所の結びつきを強くして防犯効果を高め、頂上防犯プレートを各戸に配布した。

② 施設ごとに対策や対応は異なるが、不審者対策は重要で、難しい問題であり、対策の強化を検討する。

③ 自主防犯パトロールを充実していく上で防犯リーダーは大切と考えている。近隣市町の状況を調査・研究する。

現在は

① 防犯プレートは、平成21年度9000部、平成23年度1万部配布済み。住民の防犯意識が高く、玄関等にプレートが掲示されている。

② 昭和60年12月に図書館へ、平成22年5月には中央公民館本館、スポーツ村、ふれあいの

森にセコムを設置した。また、平成24年6月に保健センター、給食センター、エスプレッソ丸山にもセコムを設置し、管理強化を図った。なお、来庁者には、以前同様声かけを実施している。



防犯プレート

③ 行政協力員さんの協力により、現在では14地区から16地区に増えている。

青色パトは、毎年5月と8月に講習会を開いており、7地区から11地区に増加しており、各地区の安全に活用している。

Q

細菌性髄膜炎は、小児科医が最も恐れる病気の一つである。

ヒブと肺炎球菌、両方のワクチン接種に公費助成をすべきと考えるが、当局の見解を伺う。

A

細菌性髄膜炎とは、細菌が脳に感染する重症の感染症である。

それを引き起こす主な細菌は、ヒブと肺炎球菌で、子どもが引き起こす原因菌として高い割合である。

愛知県内の助成状況は、ヒブワクチンが4市、肺炎球菌ワクチンが10市町村である。

公費助成は、今後前向きに検討したい。

現在は

小児用肺炎球菌ワクチンとヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチンの公費助成は、平成23年4月1日から、生後2ヶ月以上5歳未満の方を対象に、接種に係る費用の全額を補助している。

学校紹介

英比小学校

三つのモットーでみんなきらきら!

英比小では、「あいさつ」「健康」「教室はまちがうところだ」をモットーに、元気で思いやりのある子どもの育成を目指しています。

●あいさつ

町一斉あいさつ運動のときには、あ・い・さ・つ の文字が入ったマントをつけた「あいさつレンジャー」が登場し、「おはようございます!」と、大きな声であいさつを促します。



元気にあいさつ!

あいさつ運動の期間だけでなく、日常から校内ですれ違ったら、元気にあいさつすることを心がけています。

●健康

長年、健康教育に取り組んだ英比小は、平成23年度に「文部科学大臣表彰学校保健及び学校安全表彰」を受けました。

現在も、その取り組みを継続し、体育のはじめに、運動場に設けたサーキットコースを回ったり、全校でなわとび運動に取り組んだりしています。また、善行者をほのぼの賞として表彰したり、異学年での活動を通して思いやりの心を育てるなど、心の健康にも目を向けています。



サーキットトレーニングで体力づくり

●教室はまちがうところだ

まちがいから学び、みんなでいろいろな意見を出し合って学んでいくために、一人一人の意見を大切に、高めたり励ましたりして、認め合う雰囲気がつくれるよう努めています。

編集後記

今年の夏も35度を超える日が何日かありました。暑い暑い、温暖化だと言われています。

世界の中では、暑い地域とそうでない地域に分かれつつあり、北欧では寒冷化を非常に心配しています。

マクロ的には地球は寒冷化に向かっているようです。阿久比町が住みやすい気候であることを望みます。

議会だより編集特別委員会

- 委員長 二井 登喜男
- 副委員長 沢田 栄治
- 委員 久保 秋男
- 委員 竹内 一美
- 委員 都築 重信

次回定例会

12月6日(木) (開催予定)
午前10:00~

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX 48-1711

議会事務局へ